

まちづくり情報特派員特集

自治会本音トーク

by まちづくり情報特派員
企画政策課 ☎84-0312

皆さんは、「自治会」について、どのようなイメージをお持ちですか?「組長や役員をやると大変そう」「人付き合いが大変そう」…などネガティブなイメージを持っていませんか?

でも、一步踏み込んでみれば、あなたや家族の周りで日々の潤いが増していくのを感じることが出来るかもしれません。

今回、まちづくり情報特派員が自治会について、本音を語り合いました!

近所付き合いが面倒って感じる人もいるよね…

地域であいさつを交わす人が増えた!

アパート住まいの人は、自治会に疎遠な人が多いよね…

組の会合をすっかり忘れた時に、同じ組の人が心配して家まで様子を見に来てくれた!家族以外の人から心配されて嬉しいな。

嶋田 健雄 (円中)

小田 猛 (上延沢)

石崎 雅美 (円中)

武藤 一美 (金井島)

石塚 敦 (下延沢)

定年退職後、自治会活動を通して地域と繋がりを持つことのすばらしさを感じたな。

忙しい朝は、不燃ごみの立会当番が苦痛になることも…

働き盛りの忙しい世代が、参加できるような工夫が必要かも。

自治会で知り合った子どもが、近所で会うと声をかけてくれるようになった。子どもにとっても、知ってる大人が増えるのは安心に繋がるんじゃないかな。

近所の人と顔が分かる関係って、安心感があるよね。自治会は、そんな関係づくりの場でもあると思う!

生活圏内に人との繋がりがあれば、先々の人生を楽しく過ごすことができる!

親が定年後、出かけるのがすっかり減ってしまった時に近所からの誘いでパークゴルフに行くなど、外に出る機会が増えた!

大人同士の関わりって、子どもを通しての繋がりがだから同世代が多いよね。でも自治会は老若男女、世代を超えたお付き合いができる!

組長の当番は確かに面倒かもしれないけど(笑)、新しい出会いのチャンスでもあるよね!

若い頃に組長をやった時は、元からあるコミュニティに入りづらかったな…

取材後記

昨年度、組長を経験しました。コミュニケーションの方法が多様性を帯びている中で、面と向かって声を出して人と接することの大切さを感じました。

自治会がポジティブなイメージに変わったあなた、思い立ったが吉日!!6~7ページに掲載されている、自分の地域の自治会長に自治会加入の連絡をしてみましょう。

まちづくり情報特派員 石塚 敦



▲昨年4月に開催された自治会対抗ソフトボール大会 (左チームが岡野・金井島女子ソフトボールチーム)

合同で、女子ソフトボールチームを結成する岡野自治会と金井島自治会。スポーツを通じたふれあいによって住民同士の交流を深めています。



岡野自治会 金井島自治会

スポーツ

お話を聞いたのは…



岡野・金井島女子ソフトボールリーダ― 西海 孝子さん (金井島)

岡野自治会と金井島自治会は、参加人数の確保が難しいなどの理由から、スポーツイベントの時は、昔から合同でチームを結成しています。様々な世代が参加していますが、皆さん、本音が良く、いつも笑顔が絶えません。そのチームワークの良さで、昨年4月に開催された自治会対抗女子ソフトボール大会では、優勝を飾ることが出来ました。地域のコミュニケーションが希薄化していると言われていた昨今、こうした自治会活動を通して、岡野・金井島自治会では、顔が見える関係づくりができています。先日女子ソフトボールの参加者が「西海さん、料理教えてよ。」と声をかけてくれて、すごく嬉しかったですね。学校や職場ではなく、自分の住む地域で、あいさつを交わしたり、気軽に話ができる関係を築けたりできるところが、自治会の大きな魅力だと感じています。

Voice より便利な情報共有に

閲覧板の場合、「急いで回さなきゃ」と読み飛ばしてしまうことがあります。LINE@のおかげで見逃しを防いでいます。

また、LINE@により、自治会の最新情報を空き時間に確認ができるので、とても便利だと思います。



脇 幹昌さん・千遥ちゃん (みなみ)

自治会加入世帯の90%が40代以下と他の自治会と比べて若い世代が多いみなみ自治会。情報共有の新たな手段として、「LINE@」※を取り入れていています。※LINE@…無料通信アプリ「LINE」を通して、利用者に着にメッセージを送信できる。



みなみ自治会

ラインアット LINE@

お話を聞いたのは…



みなみ自治会 広報部長

石井 哲夫さん (みなみ)

みなみ自治会は、共働き世代が多いため、閲覧物をゆつくり読む時間がない方もいます。自治会のホームページにも閲覧物を掲載していますが、更新した際に気づきにくいことが課題でした。そこで、若い世代が多いという自治会の特徴を生かし、広く利用されているLINE@でホームページの更新情報を周知しようと決めました。現在、約70人がLINE@を利用しています。LINE@を始める前と比べるとイベントの参加者が大幅に増えたため、周知の効果を実感しています。LINE@はとっても便利ですが、閲覧板も併用しています。閲覧板を必要としている方がいるからというのほもちろん、お隣へ渡す際のあいさつや会話が、住民同士のコミュニケーションにもなるからです。今後もLINE@と閲覧板を併用し、皆さんに情報をお届けしたいと思います。